

社会司牧通信



202409

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★すべてのいのちを守る月間（9/1～10/4）

『被造物とともにあって、希望し行動しよう』

教皇フランシスコ、2024年9月1日「被造物を大切に作る世界祈願日」メッセージ

カトリック中央協議会 (catholic.jp)



★大阪高松教会管区 シンポジウム

★広島教区 講演会

出版記念シンポジウム

日本カトリック司教団
「見よ、それはきわめてよかった」
インテグラル
総合的なエコロジーへの招き


環境問題について取り上げた教皇フランシスコの回廊
「ラウダート・シとともに暮らす家を大切に」の呼びかけに
どう応えるかを述べた司教団文書を紹介

日時 9月14日(土)
14-17時
会場 サクラファミリア聖堂
(カトリック大阪梅田教会)


第1部
概要の紹介と説明
瀬本正之神父
(「ラウダート・シ」デスク秘書)

第2部
パネルディスカッション
前田万葉大司教
大塚喜直司教
松浦悟郎司教
酒井俊弘司教
ほか

主催：大阪高松教会管区



※当日、書籍販売があります。



*当日の様子は大阪高松大司教区公式サイト内のYouTubeチャンネルからご覧いただけます。

出版記念 講演会

すべてのいのちを守るための月間
(9/1～10/4)

『ラウダート・シ』から 『見よ、それはきわめて よかった』へ

日時：2024年9月22日(日)
11:00～12:30

場所：幟町教会
広島カトリック会館 多目的ホール
(広島市中区幟町 4-42)

講師：原田 豊己 師
参加費：無料 / 申込不要

プログラム
11:00～12:00 講演
12:00～12:15 実践報告
12:15～12:30 質疑応答

『見よ、それは きわめてよかった』 日本カトリック司教団 著 2024年7月発行 「観る」「識別する」「行動する」の 3部構成で、総合的なエコロジ ーに関する理解と実践への招き	原田 豊己 師 広島教区司祭 カトリック中央協議会 事務局次長 兼 社会司教委員会 秘書	実践報告 「エコロジーに向かう回心 のための霊的な旅路」中井 淳(s)指導による周防大島 「花咲く癒祈りの家」での 黙想会について
--	--	--

主催：広島教区 平和の使徒推進部
ラウダート・シ デスク
問合せ：E-mail: info@social-desk.net

*YouTube 配信あります。

*配信はありませんが、DVD 録画有
デスクまで、お問い合わせください。



★『神はその民とともに歩まれる』

2024年世界難民移住移動者の日教皇メッセージ | 日本カトリック難民移住移動者委員会 (J-CaRM) (icarm.com)

『謙虚さへと 土を耕す』



ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 sj
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

自分のビジョンを明確にするために、あるときから曼荼羅を描くようにしています。あるアートセラピーの本に薦められていたものです。考えることをやめて、直観を頼りに、中心の円の中に自分のエネルギーの源のシンボルを描いて、外円の中に、自分の大切にしたいこと、自分がやってみたいことを描いていくのです。不思議ですが、時間をかけながら、ここに描かれたことは実現していくのを体験してきました。さて、最近描いた曼荼羅は、今までと違っていました。今までは、外円の一部に、庭づくりだったり、エコロジーに関することがあったのですが、今回は中心に大きな木の絵を描いたのです。自分にとっては遠いように感じていて、それでも関心を持たなければならないと思っていたエコロジーが、実はすべての活動の土台になければならないということに気づいたのです。そして、その木は土に根を張っています。その曼荼羅を描いた画用紙の下半分は土が描かれているのです。

これは、ある人が分かち合いで言ってくれたことに影響を受けたのだと思います。土が耕されないと、種が芽吹いて育っていくことはできない、と。希望の種が育っていくためには、土が耕されなければいけない、と。聖書を見ると、土は私たちの根源であることがわかります。人間は土から作られたと創世記に書いてあります。だから、人間性 (Human) と土 (Humus) は語源が一緒であり、謙遜 (Humility) は、人間がその根源である土性に気づくということにあるのではないのでしょうか。その土を耕していくこと。私は、難民移住者を支える人たちのプラットフォーム、生活困窮者を支える人たちのネットワークを作ってゆく仕事をしていますが、それはそこで活動するみんなが夢を生きていけるように、底辺で、人知れず土を耕し続ける仕事なのだと、その曼荼羅を眺めながら思いました。

そのような気づきへと何よりも私を導いてくれたのは、何度もこの紙面で分かちあわせていただいた、周防大島を舞台に仲間たちと黙想する「エコロジーに向かう回心のための霊的な旅路」です。スタッフたちと、何回かに分けてやってみよう、という試みが7月の最後の二泊三日で一通り、第8章まで行きました。自分がこの大宇宙と地球の一部であること、自然のいのちたちと深く繋がった存在であることを頭だけではなく、体と心と魂で感じる時間でした。そして、その間に、その黙想の本で薦められている映画をみんなで鑑賞する時間、周防大島でその生き方を体現している方々の話を聞いたりなどして、刺激を受け取る時間でした。次の一歩も見えてきました。私たちのあらゆる活動がラウダート・シの精神の上に築かれていかねばならないという、その気づきが、あの曼荼羅へと無意識のうちに描かれたのだと思います。謙遜へと向かって土を耕していく。そんな道が見えてきました。

★カトリック広島教区 セクシャル・ハラスメント相談窓口 ★

広島教区子どもと女性の人権擁護デスク

受付時間 木曜日 (祝日を除く) 9:00~16:00 電話番号 080-9795-3676

メール: desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・SocialH・Social***H・Social***H・Social***H・Social***H・Social***

『ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう~あたたかさの源泉に立ち返る(典礼活動)』

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL: 082-221-6613 FAX: 082-221-6019

ホームページ <https://www.social-desk.net/> info@social-desk.net